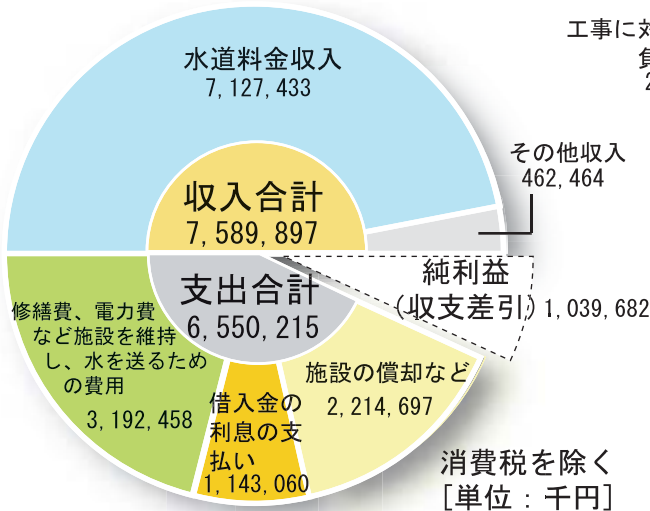


平成18年度 水道事業会計決算

ご家庭に給水する経費とその財源 (収益的収支)

収入は約75億9千万円、支出は約65億5千万円で純利益は約10億4千万円となりました(消費税を除く)。この純利益は、資本的支出における借入金(企業債)の元金の返済に充てるため減債積立金に積み立てます。

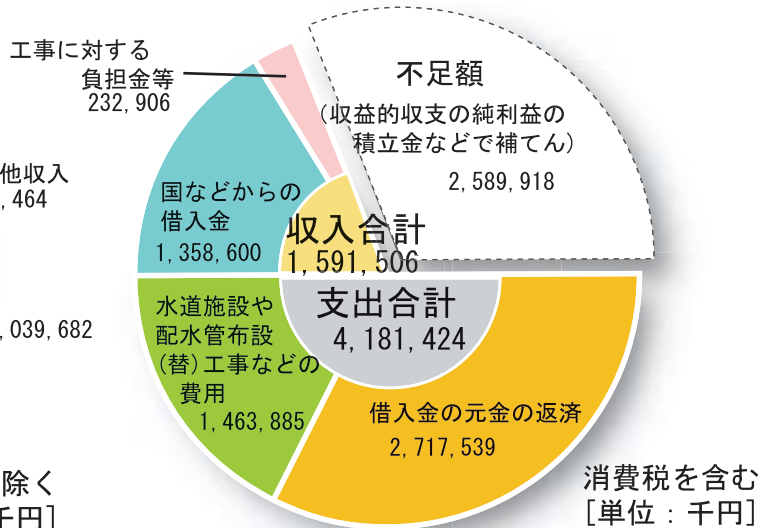
また、収入のうち料金収入については、前年度に比べて使用水量が減ったため約1億2千万円の減収となりました。



水道施設を整備・拡充する経費とその財源 (資本的収支)

収入は約15億9千万円、支出は約41億8千万円となり、約25億9千万円の資金不足となりました(消費税を含む)。この不足額につきましては、減債積立金(過去の収益的収支の純利益を積み立てたもの)や損益勘定留保資金(企業会計上、減価償却費などの現金の支出を伴わずに企業に留保されている資金)などで補てんしました。

また、借入金(企業債)の残高は約278億6千万円となっています。



平成18年度に実施した主な事業

■送配水施設整備事業

朝倉丙ほかで配水管を約4千800メートル布設しました。

■漏水防止対策事業

西秦泉寺・比島町ほかで約5千700メートルの老朽管の布設替をおこないました。また市内全域で延べ約1千300キロメートルの漏水調査をおこない、633件の漏水箇所を発見しました。

■災害対策事業

針木浄水場と九反田配水所間に耐震性を備えたバックアップ管を布設する送水管二重化事業の基本設計を実施しました。南部高地区配水池に4基目となる緊急遮断弁を設置しました。



青柳公園に14基目となる耐震性非常用貯水槽を設置し、15基目として西山市民会館西側グラウンドへの設置工事に着手しました。

■増補改良事業

比島町ほかで配水管布設替・移設工事をおこないました。また、平成17年度からの継続事業である旭浄水場更新事業(計画期間10年間)のうち浄水施設更新事業の計画期間を4年間から5年間とし、平成18年度には自家発電機棟が完成しました。他の施設増補改良事業としては、針木浄水場の浄水施設整備をおこないました。

■水源地域対策事業

水源かん養林の整備をおこなうとともに、水源地域との交流事業として「水のふるさとフェスティバル」や「早明浦ダム見学バスツアー」などをおこないました。